

事業所名

すてっぷちとせ

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

11月

1日

法人（事業所）理念	より良い福祉サービスの提供を通じて社会貢献します				
支援方針	すてっぷちとせに在籍する児童が、近い将来社会の一員として幸せに暮らせるよう一人ひとりの個性を養い、遊びを通じてその土台作りを真心込めてお手伝いしていく				
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、自立に向けた生活スキル（手洗い・衣服の着脱・排泄）やADLスキルの習得（金銭管理や食事の準備）、食育（調理を通して安全・衛生面・食材に興味）等へ関心の向上を図り、挑戦して出来る事を増やしていく支援を提供します。			
	運動・感覚	身体の感覚や感触を刺激し、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感などの発達を促します。体幹トレーニングやマット運動、鉄棒等に取り組み、バランス感覚を養い、正しい体の使い方を身に付けたり、関節可動域訓練・ストレッチなどの支援・壁面制作や造形遊び・歩行訓練を行います。			
	認知・行動	個人の発達に合わせて外部環境に対し、適切な距離や行動の習得・空間や物の概念形成を促し配慮しながら支援します。周囲から必要な情報を取得行動に繋がられる支援（野外遊び・間違い探し・調理を通じた食育・危険予知訓練、スケジュールによる集団行動）などを実施します。			
	言語 コミュニケーション	言語の形成・理解・年齢に応じた言葉遣いや所作の習得・コミュニケーション手段の選択の支援（カードゲーム・連想ゲーム・指示理解をして遊ぶゲーム）、言語の表出を促す活動（誕生会の司会など）、集団活動でのソーシャルスキルトレーニングを行います。			
	人間関係 社会性	人間関係の形成・自己形成（自己理解と行動の調整）、集団活動（ルール理解が必要なレクリエーション、運動）、公共マナー（外食・買い物・公共施設の利用）を通して、社会性の発達や対人関係の構築を支援します。			
家族支援	本人の意思を大切にし周りの家族に出来るだけ寄り添い、本人と家族の思いも大切にして日頃の療育成果を共有し家庭でも前向きにサポート出来るように支援していきます。	移行支援	子供たちの成長に応じて様々なライフステージがあり、そのライフステージの変化に応じて療育方針を見直していき保育・教育・行政機関連携を図り、保護者様のお悩みにも相談できる場を提供します。		
地域支援・地域連携	関係機関との情報共有、連携をとり本児にとって手厚く育ちやすい環境づくりをしていくと共に、社会の厳しさに直面した際、本人たちが崩れないように課題を具体的に把握して本人たちが困らないように協力・支援していきます。	職員の質の向上	都度職員間で意見交換を行い、共通理解をもって支援をすることにより、方向性を統一します。安全第一、楽しく過ごしやすい環境づくりを目指します。		
主な行事等	誕生日会、制作活動、外食イベント、水族館・動物園見学、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、雪まつり、卒業・進級おめでとう会、保護者交流会、就労体験				